

一般質問通告書

令和7年3月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 野村 広 志	1 農業政策の展望について	(1) 本市の農業者数は、高齢化等により近年減少傾向にあることに伴い、荒廃農地の積極的な活用ができていない現状がうかがえる。そのような中、農地別の担い手を地図上に示した、目標地図を定める地域計画の策定が本市でも進められている。今後、農地中間管理事業による農地の集積、集約の加速化が期待されるが、農地を有効に活用していくための取組について問う。	市 長
		(2) 地域計画の策定後は、次世代に農地を引き継いでいくため当該計画の毎年の更新が必要であると認識しているが、更新をどのように進めていく考えか問う。	市 長
	2 港湾行政の展望について	(1) 志布志港長期構想（素案）について、1月29日に行われた志布志港長期構想検討委員会でおおむね了承されたとの報道がなされた。今後、県により策定される具体的構想計画に基づいて整備が進んでいくものと期待されるが、港湾を抱えている地元自治体の声は、どの程度反映されたと認識しているか問う。	市 長
		(2) 今後の港湾振興の在り方を検討する中で、志布志港が抱えているソフト面の課題をどのように捉えているか問う。	市 長
2 青山 浩 二	1 施政方針（教育行政）について	(1) 学びの多様化教室「松風」においては、通所生への学習保障と体験活動の充実を図るとともに、市学びの多様化に係る基本構想策定検討委員会の答申を踏まえながら、子どもたちのニーズに応じた学びの保障に向けて、オンラインでの学習支援と県内初となる公立の学びの多様化学校の令和8年4月開校に向けて取り組むとしているが、具体的な内容について問う。	市 長 教 育 長
		(2) 確かな学力の育成については、小・中学校に対して、これまでのアナログ教材とのバランスを考慮しながら、デジタル教科書を導入するとともに、児童生徒が自分の理解度に応じて動画の視聴やWebドリルに取り組むことができる学習ソフトを導入し、一人一人の子どもに応じたより効果的で多様性のある授業展開を図り、学ぶ意欲や学習理解度の向上に努めるとしているが、これまでの成果と課題及び今後の具体的な取組内容について問う。	市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年3月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3 小野 広嗣	1 施政方針 について	<p>(1) 転出者数が転入者数を上回っている社会減への対策を当初予算の柱とした結果、一般会計予算の総額は、298億円となり、令和6年度当初予算と比較し34億円、12.9パーセントの増で、過去最大の予算規模となっている。「入るを量りて出ずるを制す（歳入の範囲内での予算編成）」を基本方針とする中、今後の人口減少への課題と対策について問う。</p> <p>(2) 公共施設や各地域コミュニティ協議会の活動拠点への公衆無線LANの整備を年次的に進め、災害時の避難所開設での利用など、ICTによる利便性の向上を図るとあるが、災害発生時における避難所等の通信確保や良好な生活環境の確保について問う。</p> <p>(3) 水道施設の計画的な更新や主体的な管理作業、配水管等の布設替え等による施設の長寿命化や漏水等への迅速な対応に努めるとあるが、1月28日、埼玉県八潮市の交差点で道路が陥没し、トラックが転落する事故が発生した。事故原因は、下水道管の破損に起因すると見られているが、本市は八潮市の陥没事故をどのように受け止めているのか。</p> <p>(4) 全ての妊産婦、子育て世帯、こどもに対して、切れ目のない相談支援等を一体的に行う機関である「こども家庭センター」を設置するとあるが、設置後の各種事業の展開について問う。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>
	2 投票率向上のための 施策について	<p>(1) 本年7月の参議院選挙や明年早々に行われる市長選挙・市議会議員選挙へ向けた投票率向上のための施策と、投票率が低い若年層の投票率を上げるための考え方について問う。</p> <p>また、主権者教育をはじめとした選挙に関する学校教育の充実について問う。</p>	選挙管理委員長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年3月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4 平 野 栄 作	1 環境行政について	<p>(1) 平成11年から、旧志布志町において資源ごみの分別収集が開始され、それまでの埋立処分からリサイクルへと大きく舵を切った。その結果、本市は、全国で常に上位のリサイクル率を誇っている。また、埋立てごみの約2割を占める紙おむつの再資源化に取り組むなど、埋立処分施設の更なる延命化を目指している。</p> <p>一方で、高齢化の進展等に伴うごみ出し困難者の増加や不法投棄も顕著になっているように感じることから、次の点について問う。</p> <p>① 仮に、本市単独でごみ焼却施設を建設するとした場合の経費と維持費について</p> <p>② 市民1人当たりのごみ処理費の推移について</p> <p>③ 不法投棄ごみ対策に係る取組について</p> <p>④ 地区ごとの単位衛生自治会長会開催の有無と出された意見等について、市は把握しているか。</p> <p>⑤ 衛生自治会で生ごみ処理機購入の助成を行っているが、更なる生ごみ搬出の負担軽減を図るため、本市単独の事業として生ごみ処理機の貸与など取り組むことができないか。</p> <p>(2) 市花であるひまわりを活用した「サンサンひまわりプラン」を見直し、今後改めて取り組んでいく考えはないか。</p>	市 長
	2 学校施設の環境整備作業について	<p>(1) 小・中学校における敷地内の環境整備作業（愛校作業）は、学校・PTA・地域等により実施されている。作業実施後に発生する多量の刈り草の搬出について、負担軽減の方策を問う。</p>	市 長 教 育 長
5 小 辻 一 海	1 志布志港の振興について	<p>(1) みなと振興課の現在の役割について問う。</p>	市 長
		<p>(2) 志布志港は、海上輸送網の拠点として重要港湾に指定されているが、このことをどのように認識しているか問う。</p>	市 長
		<p>(3) 志布志港は、南九州地域における国内外の物流拠点となっているが、本市としての利活用促進策について問う。</p>	市 長
		<p>(4) にぎわいの創出や誘客につなげるため、お釈迦まつりやみなとまつりなどのイベントと連携した取組ができないか問う。</p>	市 長
		<p>(5) 大規模災害の発生に備え、防災拠点として耐震強化岸壁などの整備が必要と考えるが、国や県に整備を要望することについて、市長の見解を問う。</p>	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 3 月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5 小 辻 一 海	2 企業誘致について	(1) 工業団地整備事業について、現状と今後の展望を問う。 (2) 住友林業株式会社と市臨海工業団地（5 工区）の土地売買契約を締結し、令和 4 年 2 月に立地基本協定を結んだが、現状と今後の見込みについて問う。 (3) 今後、更なる企業誘致に取り組み、雇用の促進につなげていく必要があると思うが、市長の見解を問う。	市 長 市 長 市 長
	3 市制施行 20 周年について	(1) 志布志市が誕生して 20 周年となるが、市制施行 20 周年記念式典記念イベントの概要について問う。 (2) 10 周年記念式典時における反省や総括などがなされた上で、20 周年記念式典記念イベントが計画・立案されているか問う。	市 長 市 長
6 丸 山 一	1 道路行政について	(1) 市道西谷線及び井久保 2 号線は、バイパス道路として利用されているが、カーブが多く、見通しが悪い状況であるため、改良できないか。	市 長
	2 水道行政について	(1) 発がん性が指摘される有機フッ素化合物について、国内外の水道水で検出されている事案がある。市民の健康を守るためには、水道水の安全確保が求められるが、本市の状況を問う。	市 長
7 永 田 梓	1 みどりの食料システム戦略について	(1) 令和 5 年 3 月に策定された志布志市農業振興計画における「有機農業の推進」について、1 年が経過したが、現在の進捗状況を問う。 (2) 環境負荷軽減の取組として、環境保全型農業直接支払交付金事業を実施しているが、取組状況及び今後の事業展望を問う。 (3) 農林水産省は、持続可能な食料システムを構築するため、環境負荷低減の取組の「見える化」を令和 6 年 3 月から開始しているが、本市の取組状況を問う。	市 長 市 長 市 長
	2 環境行政について	(1) 本市のリサイクル事業について、本市を訪れた方や市民の理解をより深めることを目的として、ボランティアによる「市民ガイド」を養成する考えはないか問う。	市 長
	3 母子ケアについて	(1) 様々な理由から、妊婦が自家用車を運転して通院できない場合がある。国による交通費等の助成事業があるものの、「概ね 60 分以上の移動時間」等の条件があり、利用しにくい状況にある。本市独自でタクシー代等を支援することができないか問う。	市 長
	4 国際の森について	(1) 国際の森には、旧志布志町時代から使用されていない遊歩道があるが、遊歩道を市民の憩いの場として活用するため、再整備する考えはないか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年3月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
8 稲 付 洋 平	1 P T Aと教育委員会の在り方について	(1) P T Aは、保護者と教師が協力し、子供の学校生活や教育活動を支援・推進するための組織である。最近では、P T Aへの強制加入、活動への参加と仕事の両立が難しい等の課題が表面化しており、他自治体ではP T Aを解散した事例もある。 本市におけるP T Aの在り方やP T Aと教育委員会との関わり方について問う。	教 育 長
	2 下水道等の現状と今後の整備計画について	(1) 下水道等について、排水管等の老朽化により漏水などの危険が増大し、メンテナンスや更新が急務となっている。下水道等の改修は、交通や生活への影響を最小限に抑えて行う必要があり、時間と費用が大きな課題であると思うが、市内の現状と整備計画等について問う。 ① 農業集落排水施設の管路等の維持管理と整備計画について ② 都市下水路の維持管理と整備計画について	市 長
	3 人口減少対策について	(1) 人口減少が進行している本市では、若者の地元就職支援や子育て支援を強化しているものの、都市部への一極集中が進行し、改善しているとは言いがたい現状であると思うが、今後の取組について問う。	市 長
	4 多世代交流施設整備事業について	(1) 旧ひばりビルの多世代交流施設計画は、子育て世代を中心に地域コミュニティの活性化を図ることを目的として実施することは理解するが、建物の老朽化や改築費用等が課題であると思われる。今後の取組について問う。 ① 費用対効果の検証について ② 旧ひばりビルの耐用年数と修繕計画について	市 長
9 戸 山 晋 司	1 医療費負担削減の取組について	(1) 高齢化が進む中、医療費負担の増大は、大きな懸念事項となる。対策としては、予防医療に力を入れ、健康寿命の延伸を図る取組や医療サービスの効率化、自己負担割合の見直し等が考えられるが、本市の今後の施策について問う。	市 長
	2 移住定住促進の在り方について	(1) 移住定住支援施策については、39歳以下の方を対象とした事業が多いが、昨今の晩婚化により子育て世帯の年齢層も変化してきていることから、年齢要件を見直すことはできないか。	市 長
	3 市民の意見の反映について	(1) 各種実施計画の策定の際に、審議会の開催やアンケート、パブリックコメント等が実施されているが、市民の意見を十分に集約し、反映ができていると考えるか。	市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年3月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
10鶴 迫 京 子	1 公園（市民広場）の整備について	(1) 令和6年6月定例会で、屋根付き市民ふれあい広場を整備する考えはないか一般質問したが、調査研究するとの答弁であった。市民から「子供が家の中でゲームばかりしている」、「ウォーキングや散歩や友人と語り合う癒される広場がほしい」などの声も聞くが、その後の進捗状況について問う。	市 長
11持 留 忠 義	1 農業振興について	(1) 令和5年度に農業サポートセンターが設置されたが、事業の進捗状況を問う。	市 長
	2 畜産振興について	(1) 依然として子牛の価格や肉用牛価格の下落が続いているが、厳しい経営状況にある生産農家の更なる支援を行ってもらよう、国に対して要望することはできないか問う。 (2) 配合飼料価格の高騰が続いているが、対策を問う。	市 長 市 長
	3 茶業振興について	(1) 令和4年第4回定例会において、茶の年間平均価格が低迷している中で価格補填に取り組む考えはないかと質問したが、経営安定のための農業経営収入保険の加入への助成を行い、支援をしているとの答弁であった。収入保険に加入された方の人数とその効果について問う。 (2) 依然として肥料価格の高騰が続いており、生産農家の経営を圧迫しているが、本市としての見解と今後の具体的な対応策を問う。	市 長 市 長
12南 利 尋	1 物価高騰対策について	(1) 昨今、物価高騰に多くの市民が大変な思いをされている。誰ひとり取り残さないという観点から、市民の思いに寄り添ったどのような支援に取り組む考えかを問う。	市 長
	2 防犯対策について	(1) 闇バイトによる強盗事件や特殊詐欺など全国的に悪質な犯罪が多発している。市民の生命・財産を守るために、どのような防犯対策が講じられているのか問う。	市 長
	3 庁舎整備について	(1) 各庁舎に、市民や職員が気軽に利用できる売店・カフェ等を整備すべきではないか問う。	市 長
	4 観光振興について	(1) 道の駅整備やインバウンド対策など、稼ぐ観光地経営の実現に向けた施策について問う。 (2) ダグリ岬ベイサイドパーク構想の進捗状況と今後の課題を問う。	市 長 市 長
13小 園 義 行	1 施政方針について	(1) 令和7年4月に農業委員会を有明庁舎に移すとあるが、その後の松山支所の業務の在り方は、どのように変わるのか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年3月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
13小 園 義 行	1 施政方針 について	(2) 志布志庁舎は本庁兼支所、有明支所は農業分野を中心として再編されるが、松山支所をはじめ総合支所としての機能は、十分に保障されるのか。 (3) 県内初となる公立の学びの多様化学校の開校に向けて取り組むとあるが、基本的な考え方と今後の取組について問う。 (4) 「教育のまち松山」の構築を目指すとあるが、具体的な取組について問う。	市 長 市 長 教 育 長 市 長 教 育 長
	2 公共工事 について	(1) 市が発注する公共工事について、現在ある市内事業者で災害を含めて十分対応できるのか。	市 長
	3 認知症基 本法につい て	(1) 令和6年1月1日に施行されているが、本市での取組について問う。	市 長 教 育 長
	4 教育行政 について	(1) 新年度から全ての学級に担任の先生を配置できるように県教委としては対応がなされているのか。	市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年6月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 小野 広 嗣	1 政治姿勢 について	(1) 下平市政が誕生してから、既に2期目の最終年度を迎えている。これまでの市政運営の総括（公約等の達成状況）と次期市長選（3期目）への出馬の意向について問う。	市 長
	2 第2期志 布志市まち ・ひと・し ごと創生総 合戦略につ いて	(1) これまでの市の地方創生の取組状況、成果、課題、今後の展開や考え方を確認する視点から、「第2期志布志市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の取組状況について問う。	市 長
	3 循環型社 会について	(1) 令和7年度の施政方針には、循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行を推進し、将来にわたって持続的な活動が行われる循環型社会の実現を目指すとするが、今後の具体的な方向性について問う。	市 長
	4 GIGAスク ール構想第 2期（NEXT GIGA）につ いて	(1) 2019年12月に学校におけるICT技術の活用を推進するためにスタートした国によるGIGAスクール構想は、まもなく5年半を迎える。既にGIGAスクール構想第2期（NEXT GIGA）に入っているが、その取組状況と今後の展望について問う。	教 育 長
2 野村 広 志	1 有害鳥獣 被害対策に ついて	(1) 近年、有害鳥獣による被害は、深刻さを増し、農作物被害だけにとどまらず、社会問題化しているのではないかと感じている。特にイノシシ・サルは、個体数の増加が懸念されており、多くの市民が被害に悩まされ、不安を感じている現状にある。そこで、本市における被害状況、また、今後の有害鳥獣被害対策について問う。	市 長
	2 本市のP R戦略（情 報発信）に ついて	(1) 各地方自治体では、人口減少社会への対応として公共サービス等の充実など、競争激化が見受けられる。そこで、「行ってみたいまち、住んでみたいまち」を具現化するために、本市では、どのようなPR戦略（情報発信）をとっているのか、現状と今後について問う。 (2) 国土交通省観光庁が所管するロケツーリズムについて、関係人口の創出や地域経済の活性化に寄与している実例が多く発表されている。そこで、本市でもロケ地の誘致をPR戦略の一つとして調査する考えはないか問う。	市 長 市 長
	3 防犯街灯 施策の在り 方について	(1) 防犯街灯の設置・維持に対する支援として、本市では防犯街灯設置事業補助金と防犯街灯維持管理助成金が設けられている。市民の安全・安心のために、生活インフラとして最低限必要な明かりを提供するこれらの施策の在り方について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年6月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3 西 江 園 明	1 地域の活性化について	(1) 自治会の活性化について、市長の見解を問う。 (2) 市役所職員の自治会への加入状況と確認の方法を問う。 (3) 昨年度と比較して、防犯街灯維持管理助成金を削減した理由について問う。	市 長 市 長 市 長
	2 自治会のリサイクル活動について	(1) ごみの分別について、自治会の位置づけを問う。 (2) 自治会への環境保全促進事業補助金について、合併以降見直しされていないため、増額すべきではないか。	市 長 市 長
	3 集落道整備事業について	(1) 財源としていた起債が終わることで、今後集落道整備事業の財源確保が難しくなると聞いているが、今後の見通しについて問う。 (2) 狭あいな道路に面した土地に住宅を建築した場合、道路中心後退部分は、市へ所有権移転をすべきではないか。	市 長 市 長
	4 会計年度任用職員の人事異動について	(1) 会計年度任用職員を異動させる理由とメリットを問う。 (2) 教育委員会では、会計年度任用職員をどのように位置づけているのか。	市 長 教 育 長
	5 物品購入について	(1) 市内業者ではなく市外業者から物品を購入する場合、どのような基準で選定しているのか。 (2) 納税者である市内業者から優先して購入すべきと思うが、見解を問う。	市 長 教 育 長 市 長 教 育 長
4 八 代 誠	1 防災行政について	(1) 今後、台風による暴風雨や南海トラフ地震等が発生した場合は、土砂崩れ等により道路や通信網が寸断され、中山間部に散在する集落が孤立するおそれがある。本市の対策について問う。 (2) 令和6年能登半島地震を踏まえ、国は、令和6年6月に防災基本計画を見直した。その主なテーマは、災害関連死を防ぐための避難所の環境改善となっている。また、本年5月28日には、改正災害対策基本法が成立し、避難所の運営状況を把握することなどを講じることとされている。今後の本市における避難所運営について問う。	市 長 市 長
		(3) 本市単独の住宅リフォーム助成金のうち、木造住宅の耐震診断及び木造住宅の耐震改修のための工事の助成金額を見直す考えはないか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年6月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5 隈元香穂子	1 産前産後のケアについて	(1) 市長は、「安心して子育てができるまちづくり」を公約とされている中で、助産院や産前産後ケア施設の必要性をどのように捉えているか問う。 (2) 令和5年9月定例会で、看護師等を経験された方を「人材バンク」に登録できる仕組みを構築できないか一般質問した。この「人材バンク」は、助産院や産前産後ケア施設の機能向上にも大きく寄与するものと考えているが、現在の取組状況について問う。	市 長 市 長
	2 使用済紙おむつのリサイクルについて	(1) 使用済紙おむつは、資源ごみとして専用の袋に入れて各家庭から出しているが、他のごみ袋と同様に有料となっている。無料化の検討はできないか問う。	市 長
	3 国民宿舎ボルベリアダグリについて	(1) 国民宿舎ボルベリアダグリは、令和5年4月1日から現在の指定管理者となっている。20年に及ぶ指定の期間である中で2年以上が経過したところだが、現状をどのように評価しているか問う。 (2) 現在の指定管理者に対して、売上など数値的な経営上の目標を提示していないのか問う。 (3) 指定管理者から市への納入金が0円という状況が続いている。残された指定の期間は約18年であるが、今後も一般財源からの支出が続くのではないかと懸念される。市長の見解を問う。 (4) 温泉の入浴料の値上げや利用時間の短縮は、市民サービスの低下を招いていると考えるが、市長の見解を問う。 (5) 指定管理者との間で締結した基本協定等については、現状の施設運営状況からみて見直しが必要ではないかと考える。市長の見解を問う。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長
6 戸山 晋 司	1 国民宿舎ボルベリアダグリについて	(1) 現在の国民宿舎ボルベリアダグリの施設状況は、利用者にとって快適な設備環境とは思えないが、市長の見解を問う。	市 長
		(2) 市と指定管理者との現在の管理運営体制は適切であると考えているか、その評価と課題について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年6月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
6 戸 山 晋 司	2 P T Aと 教育委員会 の関係につ いて	(1) P T Aは、長年にわたり、学校教育・地域との連携・ 防災等の側面で重要な役割を担ってきたが、近年、本市 の一部の学校では、市P T A連絡協議会から脱退して 独自組織を立ち上げようとする動きが見られる。そこ で、以下のことについて問う。 ① 任意団体であるP T Aに加入することのメリッ ト・デメリットについて。 ② P T Aは、教育委員会においてどのように位置づ けられているのか。 ③ 市P T A連絡協議会から脱退し、独自組織を立ち 上げた場合、教育委員会としての支援や関与はどこ まで可能か。	教 育 長
	3 通学支援 について	(1) 本市では、就学援助制度の一つとして通学用の自転 車購入費の助成を行っているが、更なる保護者負担軽 減の観点から、電動アシスト自転車を購入する場合の 助成額の拡充ができないか。	市 長 教 育 長
7 南 利 尋	1 有害鳥獣 対策につ いて	(1) 近年、有害鳥獣の捕獲数は大幅に増加しているもの の、個体数の増加に歯止めがかかっていないようであ る。報償金の増額や補助金の在り方の見直し等を行う べきではないか問う。 (2) 猟友会の高齢化が進み、会員の確保が喫緊の課題で ある。新たに狩猟免許を取得し罟を掛けても、鳥獣が捕 獲できず、活動しなくなったという事例を聞く。新規免 許取得者の技能向上を図るためにも、各地域での講習 会の在り方を検討すべきではないか問う。	市 長 市 長
	2 スポーツ 活動への支 援について	(1) 昨今、部活動の減少により、新たな団体を作り活動し ている事例がいくつかある。子育て支援の観点からも、 新たな支援体制を検討すべきではないか問う。	市 長 教 育 長
	3 経済活動 拠点の整備 について	(1) 都城志布志道路の全線開通による経済波及効果を最 大限に発揮させるためにも、経済活動拠点の整備を検 討すべきではないか問う。	市 長
	4 観光振興 について	(1) ダグリ岬ベイサイドパーク構想の進捗状況を問う。 (2) ダグリ岬遊園地のアトラクションを増設し、オール シーズンの集客を図るべきではないか問う。	市 長 市 長
8 永 田 梓	1 合同金婚 式について	(1) 令和4年第3回定例会で合同金婚式の送迎と祝賀会 の開催について一般質問したが、その後どのような検 討がされたのか問う。	市 長
	2 やっちく ふるさと村 について	(1) やっちくふるさと村の現在の指定管理者の指定の期 間は、今年度で満了となるが、今後の運営についてどの ような協議がされているのか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年6月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
8 永 田 梓	3 防犯対策について	(1) 令和5年第2回定例会で、市が管理する公衆トイレと市内小中学校への防犯カメラの設置を提案したが、犯罪抑止の有効な手段となることが考えられることから、トイレだけでなく、安全・安心なまちづくりのため、関係機関等との連携、検討をしていくとの答弁であった。その後の進捗状況について問う。	市 長 教 育 長
	4 旧ひばりビルについて	(1) 2006年以前に建築された建物については、アスベストが使用されていると思われるが、旧ひばりビルの今後の維持管理について問う。	市 長
9 小 園 義 行	1 国保について	(1) 国保税の子供の均等割の軽減については、未就学児分について検討すると答弁されたが、対応を問う。 (2) 資格確認証を国保加入者全員に交付するようにとの質問に対し、内部で検討すると答弁された。その後の対応を問う。	市 長 市 長
	2 健康増進法について	(1) 法の第6章で受動喫煙防止の総則と措置について規定されている。本市の公共施設や多数の者が利用する施設等における対応はどうか。	市 長 教 育 長
	3 選挙について	(1) 障害を抱えている人の投票する権利については、しっかりと対応されているか。	選挙管理 委員会委 員長
	4 個人情報の保護について	(1) 自衛隊鹿児島地方協力本部が2023年12月19日付けで2024年度中に18歳や22歳になる住民の個人情報に加え、15歳になる住民の個人情報も紙や電子媒体で提供するように求めている。本市の対応を問う。	市 長 教 育 長
	5 学校教育について	(1) 不登校の児童・生徒の増加がある。その要因をどのように分析し、把握しているか。	市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年9月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 小野 広 嗣	1 将来推計人口を見据えたまちづくりについて	(1) 本年は、団塊の世代全員が75歳以上に達し、国民の5人に1人が後期高齢者となる。少子高齢化の進展により、人口における年齢構成が変化している中で、本市の将来推計人口を見据えたまちづくりについて問う。	市 長
	2 食のまちづくりについて	(1) 総務常任委員会の所管事務調査を行った千葉県館山市では、平成27年に「たてやま食のまちづくり計画」を策定し、推進理念の下に、目的（一次産業を始めとした地域の産業振興＝雇用・移住・定住・関係人口の増加）を明確にして事業に取り組んでいた。本市における食のまちづくりについての考え方を問う。	市 長
	3 高齢者等へのDX対策について	(1) デジタル化が加速する現代、生活のあらゆる面でインターネットやスマートフォンの活用が進んでいる一方で、デジタル社会にうまく適応できないことによる「生きづらさ」を感じている高齢者等も多い。自治体DXを推進する上での高齢者等へのDX対策について問う。	市 長
	4 学校図書館について	(1) 文部科学省は、学校図書館図書標準の達成、計画的な図書の更新、学校司書の配置拡充を図るために、令和4年度から令和8年度までの第6次学校図書館図書準備等5か年計画を策定し、目標を定め計画を進めているが、計画目標年度まで1年余りとなる中で、本市の取組状況について問う。	教 育 長
2 野 村 広 志	1 防災行政について	(1) 防災対策基本法第42条の規定に基づき、志布志市防災会議が地域防災計画を定めているが、基本的な考え方や理念について問う。 (2) 本市での防災の在り方を考える上で、各地区内の自助・共助の計画として、地区防災計画の策定を推進する考えはないか問う。	市 長 市 長
	2 外国人労働者の確保・定着への取組について	(1) 本市の外国人労働者の現状について問う。 (2) 外国人労働者の増加の実態を本市ではどのように受け止め、多文化共生社会の実現に向けた取組を進めていく考えか問う。 (3) 外国人労働者の住居について、公営住宅を活用した支援は考えられないか問う。	市 長 市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年9月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3 西 江 園 明	1 今後の志布志港と都城志布志道路について	<p>(1) 都城志布志道路の全線開通により、志布志港の貨物量も急速に増大傾向にある。そのような中、トラックヤードが手狭になった志布志港について、志布志港港湾計画の改訂の正式な発表はいつ頃になると県から伝えられているのか。</p> <p>(2) 都城志布志道路は、急速にトラック等の交通量が増えていると思うが、現状の把握と今後の展望について問う。</p> <p>(3) 都城志布志道路の全線4車線化について、早期に要望活動をすべきと思うが、見解を問う。</p> <p>(4) 港湾の企業との情報交換は、どのような形で行っているのか。</p> <p>(5) 港湾のコンテナヤードの運用に対し、市がもっと積極的に関わるべきと思うが、見解を問う。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>
	2 職員研修について	<p>(1) 本市の職員研修の現状を問う。</p> <p>(2) 港湾等の市内企業での実務従事等の職員研修を行ったことはあるのか。</p> <p>(3) 職員が自由に研修先を選択できる柔軟な研修制度を導入すべきと思うが、見解を問う。</p> <p>(4) 職員研修を充実させるため更なる予算措置をすべきと思うが、見解を問う。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>
4 小 辻 一 海	1 特認校制度について	<p>(1) 潤ヶ野小学校、田之浦小学校及び森山小学校を特認校制度による指定校とした経緯と特認校制度の内容について問う。</p> <p>(2) 特認校制度について、保護者等からこれまでに出されたあらゆる意見・課題はどのように検証されたのか問う。</p> <p>(3) 特認校に通学する児童について、スクールタクシーの廃止に伴う今後の通学手段をどのように考えているか問う。</p>	<p>市 長 教 育 長</p> <p>市 長 教 育 長</p> <p>市 長 教 育 長</p>
	2 グループ制について	<p>(1) グループ制の導入から約1年6か月が経過している。その効果が得られているか問う。</p> <p>(2) 係長を中心とした指示系統（係制）に戻す考えはないか問う。</p> <p>(3) グループ制の導入後に出されたあらゆる意見・課題について、しっかりと検証し具体的な取組が協議されているか問う。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>

一 般 質 問 通 告 書

令和7年9月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5 稲 付 洋 平	1 農業政策について	<p>(1) 自民党の食料安全保障強化本部は、農家の所得向上に向け、今後5年間で2兆5,000億円の予算を確保し、農地の大区画化を進めることなどを求める「農業構造転換集中対策の実施に向けた緊急決議」を決定し、内閣総理大臣に申入れを行った。この予算が計上された場合の本市における計画はあるのか。</p> <p>(2) 本市の農家の平均年齢と離農件数について問う。</p> <p>(3) 令和3年に策定した志布志市過疎地域持続的発展計画について、「事務事業マネジメントシート等による事業評価、効果検証を行う」となっているが、農業政策の効果検証をしているのか。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>
	2 土地改良事業分担金について	<p>(1) 志布志市土地改良事業分担金徴収条例施行規則第2条第3号の農業農村整備事業の分担金は、「土地10アールにつき5万円を乗じて得た額」となっているが、この5万円の根拠を問う。</p> <p>(2) 分担金の使途は、志布志市土地改良事業分担金徴収条例第1条に定められているが、その具体的な内容を示せ。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>
	3 ほ場整備事業について	<p>(1) ほ場整備事業について、行政の関わり方を問う。</p>	市 長
6 八 代 誠	1 道路行政について	<p>(1) 伐採作業が依然として実施されていない市道が多く見受けられる。今年度の市道伐採作業の状況について問う。</p> <p>(2) 市道の交差点について、指導停止線が視認できない箇所が多く見受けられる。対策を急ぐために、地域コミュニティ協議会をはじめ、地域安全モニター部会や交通安全協会支部に補助金を交付し、指導停止線の補修作業ができる仕組みを構築できないか問う。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>
	2 伊崎田地区の住居環境整備について	<p>(1) 伊崎田地区において、県立の「曾於地区特別支援学校」が令和10年4月に開校する予定となっている。このことにより、伊崎田地区には新たな地域特性が形成され、交流・関係人口が拡大すると考える。この機会を活かして、県と連携しながらまちづくりに取り組み、移住・定住を促進するための環境（住宅用地・学校職員用の戸建住宅等）の整備を検討できないか問う。</p>	市 長 教 育 長
7 永 田 梓	1 環境行政について	<p>(1) 使用済紙おむつの市全域の回収が令和6年度から始まったことで、埋立処分場の延命化が図られたとのことだが、その詳細を問う。</p>	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年9月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7 永 田 梓	1 環境行政について	(2) 災害ごみの仮置き場について問う。また、近隣の自治体と連携し、焼却処分することはできないか問う。	市 長
		(3) 井手間資源ごみ収集所について、粗大ごみの持込みが廃止となった経緯を問う。また、粗大ごみの持込みの再開を望む住民の声を聞いているが、再開する考えはないか問う。	市 長
		(4) 市内2か所の循環センター及び井手間資源ごみ収集所での一般ごみの回収について、見解を問う。	市 長
		(5) 令和6年第2回定例会において、循環センター（有明）に併設予定のリユースショップやリペア施設の運用開始時期についての質問に対し、「実証実験を踏まえ、運用方法や開始時期などについて、民間事業者とも協議・研究していく」との答弁であったが、その後の進捗状況について問う。	市 長
8 南 利 尋	1 道路行政について	(1) 雑草、竹、雑木等の成長に道路の伐採作業が追い付いていない現状にある。道路維持作業員や重機を増やして対応すべきではないか問う。 (2) 集落伐採清掃報奨金について、近年続く物価高騰の影響を考慮し、増額を検討すべきと考えるが、見解を問う。 (3) 市内にある県道には、多くの危険箇所が点在する。保全管理のため、今以上に県と緊密な連携を図るべきではないか問う。	市 長 市 長 市 長
	2 地域振興について	(1) 地域社会における住民同士のつながりが薄れてきていることが懸念される。自治会員間の交流の機会を増やすためにも、各自治会の集会所内の設備が充実できるような補助事業を創設すべきではないか問う。	市 長
	3 職場環境整備について	(1) 市民サービスの向上を目指すためには、職員間で円滑なコミュニケーションが取れていることが不可欠である。庁舎内に職員が交流しやすい設備を整備すべきではないか問う。	市 長
	4 観光振興について	(1) ダグリ岬ベイサイドパーク構想は、市民も大きな期待を寄せている。本構想について、進捗状況を定期的に公開すべきではないかと考えるが、見解を問う。 (2) ダグリ岬ベイサイドパーク構想の範囲には、国際の森周辺が含まれている。国道北側の国際の森周辺は、「県立公園」としての整備を県に要望していくべきではないか問う。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年9月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
9 東 宏二	1 ふるさと納税について	(1) 新聞報道によると、本市の令和5年度のふるさと納税寄附額は約67億6,500万円であったが、令和6年度は約15億7,400万円の減となった。その要因を問う。 (2) 令和7年度のふるさと納税寄附額の見通しは、令和5年度の水準に近づくかと捉えているのか。	市 長 市 長
	2 道路行政について	(1) 市道の中央線や白線が消えている箇所が多く見受けられる。今後の対応について問う。また、県道・国道も同様の状況が見受けられるが、国・県との連携について問う。 (2) 市道の植樹帯の除草がされていない箇所が多く見受けられる。今後の対応について問う。また、県道・国道も同様の状況が見受けられるが、国・県との連携について問う。	市 長 市 長
10 小園 義行	1 情報保護の在り方について	(1) 本市の情報資産がSNS上において公開されたことが疑われる事案が確認され、セキュリティ侵害の発生を未然に防ぐ対策として、執務室への入室に関する措置が講じられている。これに至る経緯を問う。	市 長
	2 職員採用試験について	(1) 試験区分は、毎年度見直しをして決定されていると考えるが、それぞれの区分の現在（令和7年度）の職員数は、定数に対して何人いるのか。 (2) これまでの試験区分にない図書館及び学校図書室の司書及び司書補の採用をどのように考えているのか。 (3) 本市の障害者の法定雇用率の達成状況はどうか。	市 長 教 育 長 市 長 教 育 長 市 長 教 育 長
	3 学校教育について	(1) 中学校における部活動の地域移行の現状はどうか。 (2) 地域移行したときに、市役所職員が指導者として関われる環境作りはどうか。	市 長 教 育 長 市 長 教 育 長
	4 国保について	(1) 国は、国保の保険証の有効期限が過ぎた後でも、令和8年3月末までは利用できる旨の通知を出している。国保加入者への早急な周知が必要と考えるが、対策はどうか。	市 長
	5 自衛隊への名簿提供について	(1) 現在の自衛隊への名簿提供の在り方について、自己情報コントロール権の視点から見直す考えはないか。	市 長
11 鶴 迫 京子	1 福祉行政について	(1) 車椅子に対応した福祉車両を市で購入し、貸し出す事業に取り組むことができないか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年9月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
11鶴迫京子	2 がん検診について	(1) がん検診の種類別の対象者数と受診者数について、本市の現状を問う。 (2) がん検診の種類別の受診率は、近隣市町と比較してどのような状況にあるか問う。 (3) がん検診の更なる受診率向上のために、具体的な取組を検討しているか問う。	市 長 市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 12 月 定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 小野 広 嗣	1 地域防災力の向上について	(1) 近年、災害が激甚化、頻発化する中で、地域での備えの重要性が一層高まっている。市民一人一人が、防災を自分事として捉え、地域での役割を果たせるような環境づくりがますます求められている。本市の地域防災力の向上に向けた考え方について問う。	市 長
	2 高齢者等の見守り支援について	(1) 近年の高齢化に伴い、高齢者の生活を支える見守り支援の重要性が増している。特に一人暮らしの高齢者の増加が全国的にも課題となる中、見守り体制の充実が求められている。本市における高齢者の見守り支援の取組状況について問う。 (2) 人生の終わりについて考える終活は、これからの人生を自分らしく最期まで充実させるとともに、残された家族などの負担を軽減させるためにも重要な取組であると考えているが、身寄りがない人、支え手がない人などへの支援について本市の認識を問う。	市 長 市 長
	3 部活動の地域移行（地域展開）について	(1) 国は、これまで休日の部活動を段階的に地域へ移行することを目指していたが、地域全体で支えていくという趣旨に沿って、本年5月からは「地域移行」を「地域展開」に呼び方を変えている。これまでも部活動の地域移行について一般質問を重ねているが、その後の本市の現状について問う。	教 育 長
2 野 村 広 志	1 「まちづくり」の将来展望について	(1) 喫緊の課題である人口減少・少子高齢化や未曾有の災害への備えなど都市の構造が変化する中で、様々な社会情勢への対応は急務である。そこで、本市が目指すべき持続的で安心して暮らせる「まちづくり」の将来像・基本的方向性について見解を問う。	市 長
		(2) 東九州自動車道及び都城志布志道路のインターチェンジ周辺エリアが持つポテンシャルを本市の発展につなげるため、まちづくりの視点からどのような施策を検討しているのか問う。	市 長
		(3) 都市計画マスタープランにおいて地域生活拠点として位置付けられている地域については、拠点化をどのように進め振興を図っているのか問う。	市 長
		(4) 松山支所の機能複合化と道の駅等近隣施設を含めた災害に強い拠点化を図り、地域の活性化につなげていく考えはないか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年12月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3 平 野 栄 作	1 蓬の郷 (ふれあい交流センター)について	(1) 蓬の郷(ふれあい交流センター)は、有明地域における市民の交流拠点の一つであるが、施設の老朽化が顕著であり、指定管理者制度を活用した今後の維持管理の継続も不透明に感じることから、以下の点について問う。 ① 今回の指定管理者の公募期間に応募がなかったことをどのように捉えているか。 ② 施設及び設備の老朽化が進んでいる中で、今後のふれあい交流センターの在り方をどのように考えているか。	市 長
	2 道路の伐採作業について	(1) 市道や農道の伐採について、人口の減少や高齢化によって作業が困難な自治会が増えている。また、近年では、雑草の成長が早く伐採作業が追い付いていないと感じられることから、以下の点を問う。 ① 伐採作業の現状と今後の考え方を問う。 ② 交差点の視認性が特に悪くなっている箇所のメンテナンスフリー化を重点的に進めていく考えはないか問う。 ③ 庁舎内における関係部署間の連携を図った上で、各種団体への作業要請を行う考えはないか問う。	市 長
4 丸 山 一	1 水道水の安全性について	(1) NPOオアシス水環境研究会が市内の河川や小・中学校の水質調査を実施しているが、市が毎月検査、公表している亜硝酸窒素の数値に違いがある。水道水の安全性に問題はないか問う。	市 長
	2 急傾斜地対策について	(1) 押切地区の急傾斜地について、土地の所有者が伐採を行っているが、大きな切株が斜面に多量に残されている。津波が発生した際の避難ルートでもあることから、市で急傾斜地の対策を講じることはできないか。 (2) 令和5年第4回定例会において、通山地区の急傾斜地についての質問に対し、「どのような管理が県のほうで行われているかなどを含め、その実態を確認したい」との答弁であったが、その後の改善がみられないところである。現在の進捗状況は、どのようになっているか問う。	市 長 市 長
5 永 田 梓	1 市営住宅について	(1) 松山地域の市営住宅に空きが増加している。現在の入居要件の緩和を検討できないか問う。	市 長
	2 やっちくふれあいセンターの設備について	(1) やっちくふれあいセンターは、会議室が少なく市民の利用がしづらい状況にある。時代に合わせた改修を行い、誰もが利用しやすい施設にすることはできないか問う。	教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年12月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5 永 田 梓	3 やっちく 松山藩出城 公園の遊具 について	(1) やっちく松山藩出城公園の遊具のほとんどが老朽化によって使用禁止になっており、子供たちから不満の声が上がっている。全ての子供が共に遊べる遊具の整備ができないか問う。	教 育 長
6 青 山 浩 二	1 奨学金返 還支援事業 について	(1) 少子高齢化により、人口減少が急速に進行する中、人口流出・若者の移住定着の対策として、奨学金返還支援事業を実施しているが、目的である定住促進を更に加速させるため、対象要件の緩和等を行うべきであると感じることから、以下の点について問う。 ① 年度別の実績（申請者数・認定者数・却下者数・補助額）と効果検証について問う。 ② 対象年齢34歳以下と支援額の上限24万円の妥当性について問う。 ③ 支援事業の対象者となるための要件が厳しく、対象者にならない事例がある。要件を緩和する考えはないか問う。 ④ 離職時の取扱いが厳しすぎるとの意見がある。要件を緩和する考えはないか問う。 ⑤ 申請手続が煩雑で負担が大きいとの意見を聞く。申請手続の簡素化を図る考えはないか問う。	市 長
7 戸 山 晋 司	1 ラーケー ションの導 入について	(1) 家庭や地域での体験を通じて学びを深めるラーケーションという新しい取組が注目されている。本市におけるラーケーションの捉え方と導入の可能性について問う。	教 育 長
	2 ユニバー サルプールの取組につ いて	(1) 令和5年6月定例会において、本市におけるユニバーサルビーチの取組について質問を行った。海岸での取組は意義深い一方、今後、本市では特別支援学校の分置が予定されており、多様な利用者が安全かつ安定的に利用できる環境整備も重要であると考えことから、以下の点について問う。 ① 屋内施設で管理しやすく、利用者の安全確保が図りやすいユニバーサルプールの取組についても検討すべきではないか。 ② ユニバーサルプールを含むユニバーサルレクリエーション施設の整備等、市としての基本的な考え方を問う。	市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 12 月 定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7 栢 山 晋 司	3 予防医療 について	(1) 医療費の負担が更に増加するといわれる2040年問題 について、以下の点を問う。 ① 本市における2040年問題をどのように捉えている か。 ② 超高齢化社会であっても、健康な人が多い社会を 目指し、更なる予防医療についての取組を検討して はどうか。	市 長
8 小 園 義 行	1 志布志港 港湾計画改 訂について	(1) 令和 7 年10月 7 日に県地方港湾審議会が開かれ、大 幅な変更を盛り込んだ志布志港港湾計画を了承し、12 月に計画改訂が告示される予定である。この計画改訂 による本市への港湾改修負担金等を含めた影響をどの ように受け止めているか。	市 長
	2 教育行政 について	(1) 新入学時における保護者への負担軽減を図るため、 制服代等に対する購入補助をする考えはないか。	市 長 教 育 長
	3 水道事業 について	(1) 漏水等の故障が発生した場合、市民への対応は、どの ようにされているか。 (2) 以前のような修繕当番制に取り組む考えはないか。 (3) 水道課に水道関連の資格を持った職員を採用し、市 民の利便性を図る考えはないか。	市 長 市 長 市 長
	4 政治姿勢 について	(1) 市長の退職金について問う。	市 長